

人権教育授業参観で一つの問題が投げかけられました。「旅行が大好きな健常者のAさんは、いろいろな所へ旅行ができます。一方、Bさんは旅行が大好きなのですが、障害者であるため、自由に行くことができません。これはあっても良いことでしょうか？あつてはいけないことでしょうか？」

私たちのほとんどがあつても良いことであると判断しました。それは「障害」があるからといって差別することは許されませんが、旅行のように生きていく上で趣味の部類に入るようなものには、当然我慢しなければいけないこともあるという思いからです。それを聞いていた母は納得できなかつたようで、「みんなは優しくないよね。スタートラインは一緒にでないとね」と主張しました。

それからというものの、母は会う人ごとに「どう思う？今の子は優しくないと思わない？」と問いかけ、自分なりに納得のいく答えを見つけてようとしているようでした。

そんなある日、祖父の知り合いの会社を経営しているかたに「どう思いますか？」と質問を投げかけた母。そのか

たから私はずしんとくる話を聞くことができました。社長さんの会社には障害のあるかたが何人も働いておられますが、その中の一人Cさんは中度の肢体不自由で、小さいころから両親に大切に育てられ、自分では何もしたことがなかつたそうです。しかし、「社会人として何とか自立させたい」と思われたご両親は社長さんに就職のお願いをしたそうです。

家での生活体験しなかつたCさんは、最初、何もかも「できません」と背を向け、階段も上がることも荷物を持つこともできませんでした。そんなCさんに社長さんがかけた一言は、「できないのなら、できるようになつてください」というものでした。

私はなんでもっと優しく支えてあげられないのかと思いましたが、しかし、会社はボランティア精神だけでは経営できず、利益をあげる必要があります。それに、何もしようもないCさんをかかわいそうだとそのままにしていたら、Cさんはきっと、自分の本当の力や生きる喜びを見出せずに終わってしまったことでしょう。

社長さんが特に配慮したこ

とはCさんの安全確保と回りの従業員の理解と協力を得ること、Cさんを温かく見守り本当の助けの必要なきに手を差し伸べるといった体制づくりでした。笑顔でそのことを話される社長さんは、本当にえらいなあと思いました。

今では、Cさんは勤続十数年、自信を持って仕事をしているそうです。この会社の社員旅行も海外の部を選び、今までにパリやハワイ、オーストラリアの旅行を楽しんできたそうです。家から出ることもなかつたCさんの変身ぶり！本当にすごいと思えます。

障害のあるかたが自由に旅行にいけなないのは仕方ないと考えていた私でしたが、「障害者」は社会の偏見や閉鎖性から挑戦する機会を与えられずに、何事にも、例えば旅行にさえも臆病になつていく現実があることも、改めて考えさせられました。

「スタートラインは一緒にでないと」という母の言葉が今、ひしひしと私の胸に響きます。それぞれの人が立っているスタートラインをもう一度、しっかりと見つめていきたいと思えます。

ありがとうございました

次のかたがたからご好意、ご寄付等をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

(順不同 敬称略)

まごころ銀行へ

- 藤本はるみ(壬生川)、眞鍋敏正(国安)、玉井由美子(壬生川)、柳瀬英子(壬生川)、眞鍋廣司(三津屋)、杉野陽子(国安)、日野正明(周布)、黒河ミチ子(明理川)、越智寛隆(明理川)、吉田敏夫(上市)、柳瀬高尹知(丹原町閑屋)、東予「葉友会」、宇佐美ハーモニカ教室、あざみ会代表加美正芳、(株)松井建設、西中ナイター利用者協議会、西山学園幼稚園PTA、ボーイスカウト西条地区丹原第一団、西条竹ダンス、華の会一同、創作の家・陶芸クラブ、神拝クリスマス会参加者一同、国興産業(株)、東予工機(株)
- 山甲)・他1名、▼散髪 伊藤泰博(明神木)、▼新聞 芥川秀人(神拝甲)、▼みかん 寺田久乙(飯岡)、▼現金 茶道裏千家淡交会西条支部、▼浪曲・講話 天理教道前支部、▼クリスマスプレゼント 西条高校JRC部、▼遊戯会招待・菓子 いずみ保育園、▼歌・踊り ひまわり幼稚園、▼歌・踊り 禎瑞保育所

西条市へ

- ▼図書券 住友重機械労働組合新居浜支部

老人ホーム明水荘へ

- ▼押花指導 佐藤ミヨ(大町)、秋月理作子(大町)、▼生花指導 稲住育子(下島)



旧東予市内の小学校9校に図書券が寄贈されました。